

(宣言日) 令和4年6月6日

富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を推進する富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	有限会社宮崎ふとん店
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 企業（業種： ） <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	代表取締役 宮崎哲也
所在地	富士宮市宮町12-22
URL	
電話番号	0544-26-3262
メールアドレス	futon@miyazaki-jp.net
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として2030年（中長期的な）のあるべき姿	
寝具に関する地産地消を目指し、永くリサイクルして使える商品販売・商品製造を行う。専門店にしかできないメンテナンス体制を自社に作り、対話を重視した接客を行う。	
団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
綿や羽毛は大切な資源である。お客様の問題のある羽毛ふとんや綿ふとんを処分するのではなく、自社で羽毛リフォーム・打ち直しを行い、商品を循環して長く使えるようにする。枕やマットレスについても枕の調整やマットレスのメンテナンスをすることにより、永く使えるようにする。ポリエステル素材の商品ではなく、できる限り綿などの天然素材の商品を販売・製造する。	
SDGsの各目標に向けた取組内容及び目標	
注力するゴール	2022年12月までの取組内容及び目標
3	最新の非接触型計測機を使用し、お客様一人一人に合った枕・マットレスの提案し、質の良い睡眠に貢献する。睡眠の質を上げることにより、生産性の向上に貢献する。
12	自社で販売・製造する商品は耐久性の長いものにする。綿ふとんの打ち直し、羽毛リフォーム・枕・マットレスのメンテナンスで長持ちさせる。自社で販売・製造した商品に責任を持つ。
14	アクリル毛布等のポリエステル繊維の商品販売を減らし、地球環境にやさしい天然素材の商品の販売を増やす。

(記入上の注意)

- 3つの目標に関する取組を記載してください。（環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択していることが望ましい。）
- 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいて構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課 (kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)